

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2011年1~3月期見通し)
 ~第42回おきぎん企業動向調査(2010年10~12月期)調査結果より~

I. はじめに

1. 調査の結果

業況DIの推移

項目	2009年		2010年						2011年			
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期(見通し)	
	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比	DI	前期比
全業種計	△ 5.6	-	0.2	+	△ 3.2	-	6.8	+	9.4	+	17.8	+
製造業	△ 5.1	-	△ 7.7	-	△ 23.0	-	0.0	+	△ 9.3	-	1.9	+
土木業	22.5	+	9.5	-	△ 12.8	-	△ 32.1	-	△ 11.8	+	14.7	+
建築業	0.0	+	5.0	+	△ 5.6	-	5.5	+	6.6	+	14.8	+
卸売業	△ 13.4	+	△ 5.6	+	△ 16.1	-	△ 11.8	+	△ 3.3	+	7.6	+
小売業	△ 5.5	+	0.0	+	6.9	+	25.7	+	18.2	-	13.6	-
情報通信サービス業	△ 16.7	-	36.4	+	25.0	-	30.8	+	33.3	+	33.3	-
医療・福祉	38.9	-	28.6	-	30.6	+	29.0	-	20.0	-	33.3	+
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 4.8	+	△ 13.2	-	6.3	+	22.9	+	35.7	+	26.2	-
その他(不動産、運輸等)	△ 21.3	-	△ 1.0	+	△ 3.2	-	5.6	+	18.4	+	33.3	+

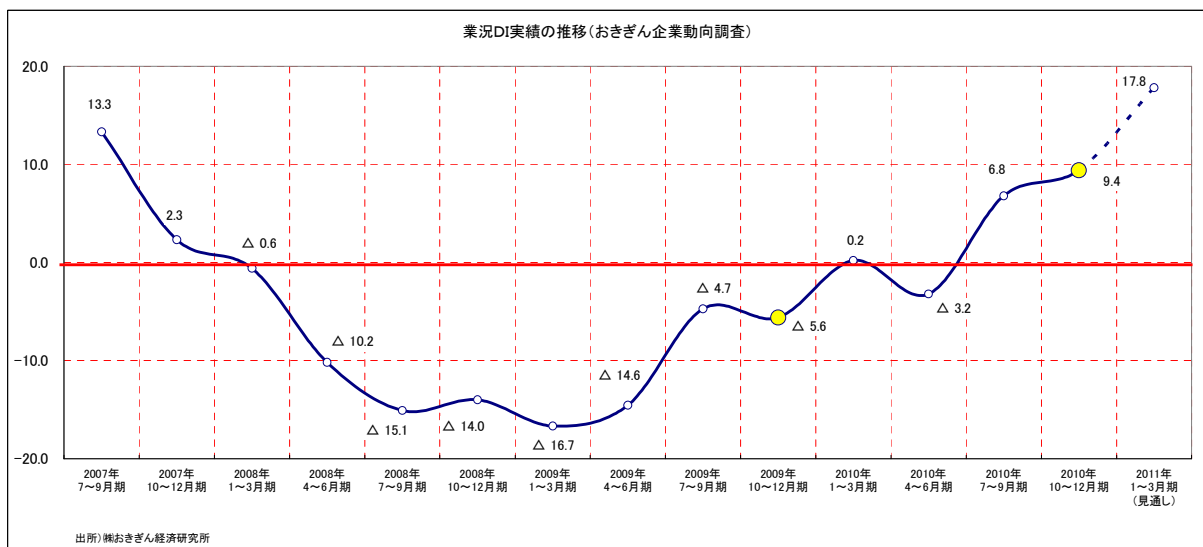
注)プラスマイナスの符号は、前期比で比較

※今回調査

2010年10~12月期調査の業況DIは9.4(前年同期比)となり、前期の6.8から改善の動きとなりました。

業種別でみると、建築業、小売業、情報通信サービス業、医療・福祉、その他サービス業、その他で業況改善の動きが見られます。一方で製造業、土木業、卸売業において「業況の弱さ」が見られます。

2011年1~3月期の業況見通しDIについては17.8となり、各業種において「業況の改善」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2010年11月下旬～12月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 478社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

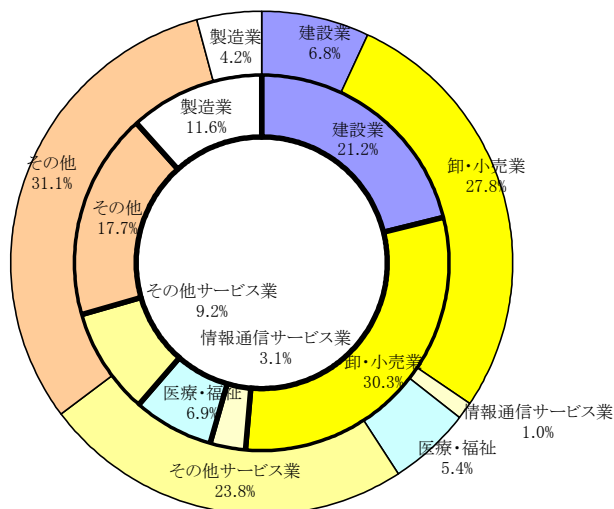
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

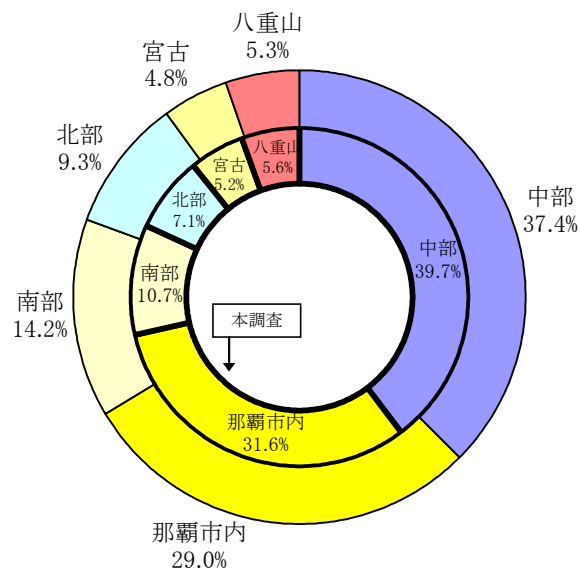
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2006年事業所・企業統計調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



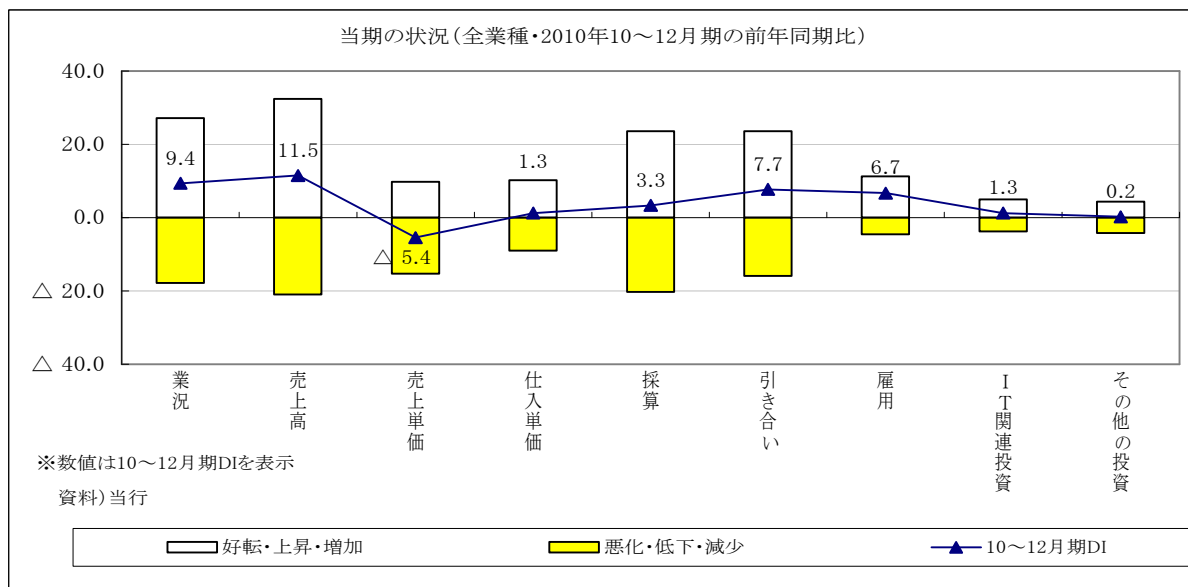
資料)総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

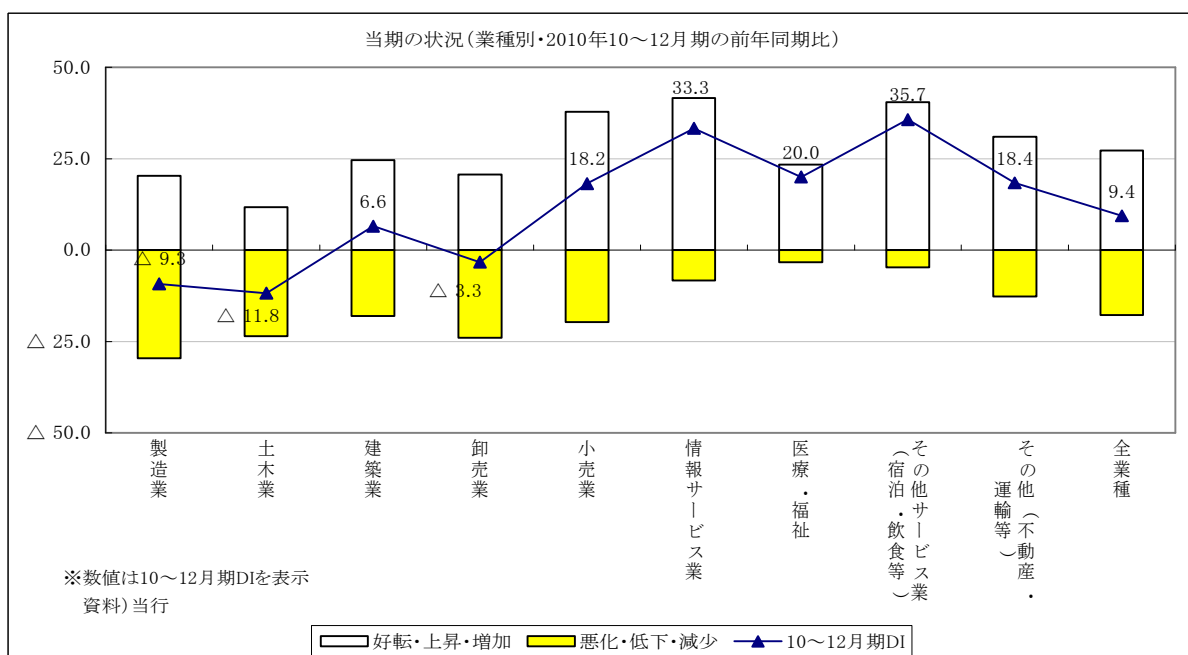
a. ①当期の状況(項目別・2010年10～12月期の前年同期比)

実線で示している当期のDIを見ると、売上単価(△5.4)は下向き圧力が続きます。しかし、少しずつではあるものの「引き合い(7.7)」は増加しています。また、店舗の統廃合や経費削減努力により「採算(3.3)」も改善しています。営業部門強化の動きも見られ雇用も改善傾向にあり、全体として**業況改善の動き**が見られます。



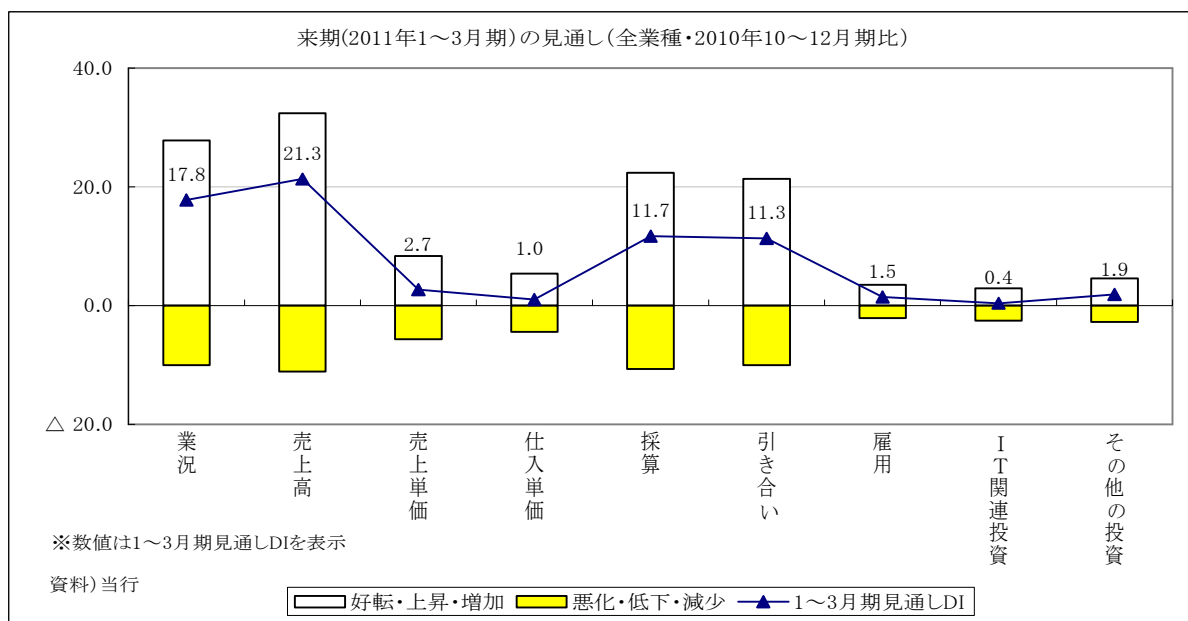
a. ②当期の状況(業種別・2010年10～12月期の前年同期比)

当期の状況を業種別に見た場合、公共工事の減少から、土木業や建設関連の製造業、卸売業において業況が悪化しました。一方、建築業は公共工事の減少は続くものの民間工事等で少しずつ持ち直しの動きが見られます。その他サービス業や小売業などは、前年流行した新型インフルエンザの反動から観光関連は需要が増加し、**業況改善の動き**が見られます。



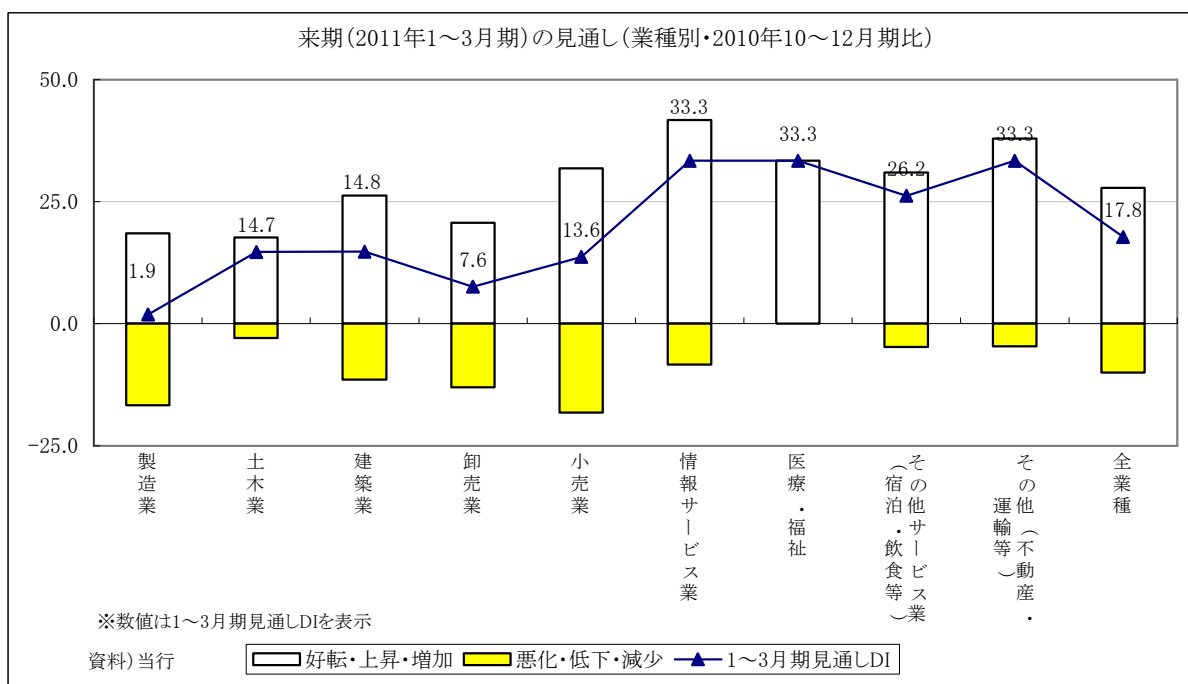
b.①来期の見通し(項目別・2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

来期(2011年1～3月期)の見通しDIを見ると、昨今の為替の変動も落ち着きを見せており、仕入単価はほぼ横ばいの見通しです。公共工事の最盛期となることや、冬場の観光需要が増加する時期となることから、売上高(21.3)、採算(11.7)、引き合い(11.3)など、各項目においては**業況改善の動き**となっています。



b.②来期の見通し(業種別・2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

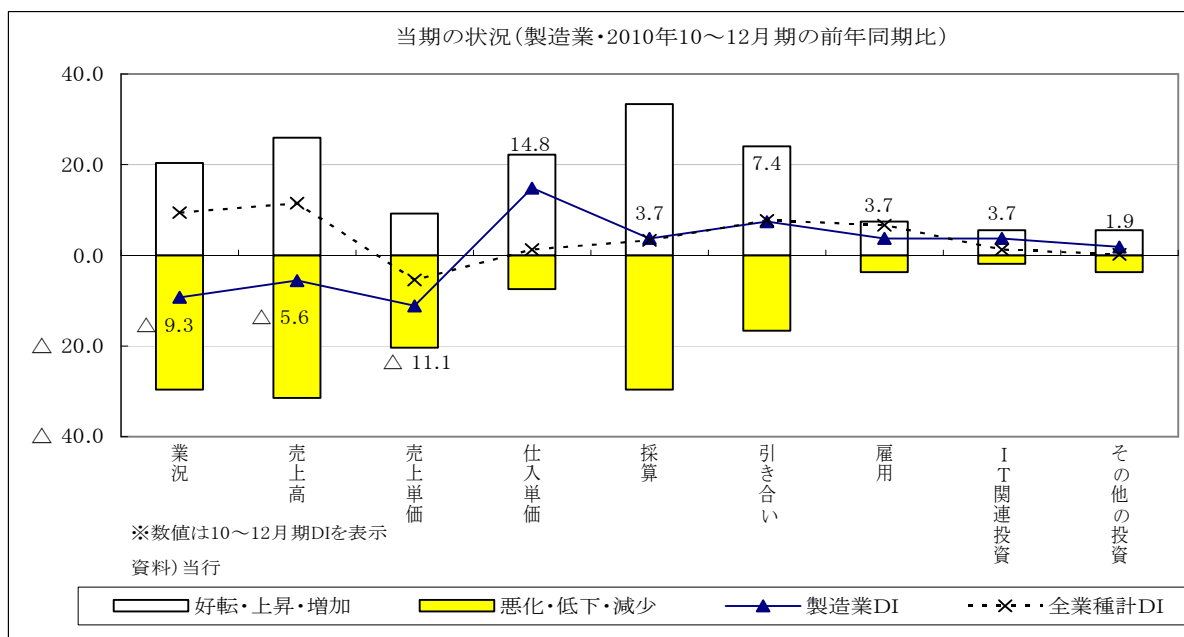
来期(2011年1～3月期)の見通しDIを業種別に見ると、公共工事・民間工事の増加見込みなどから製造業、土木業、卸売業も業況改善の見通しとなりました。また、エコカー・エコポイントなどの政策による需要の取り込みの為の営業強化の動きが見込まれます。季節需要の高まる医療や、観光関連業種も引続き**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

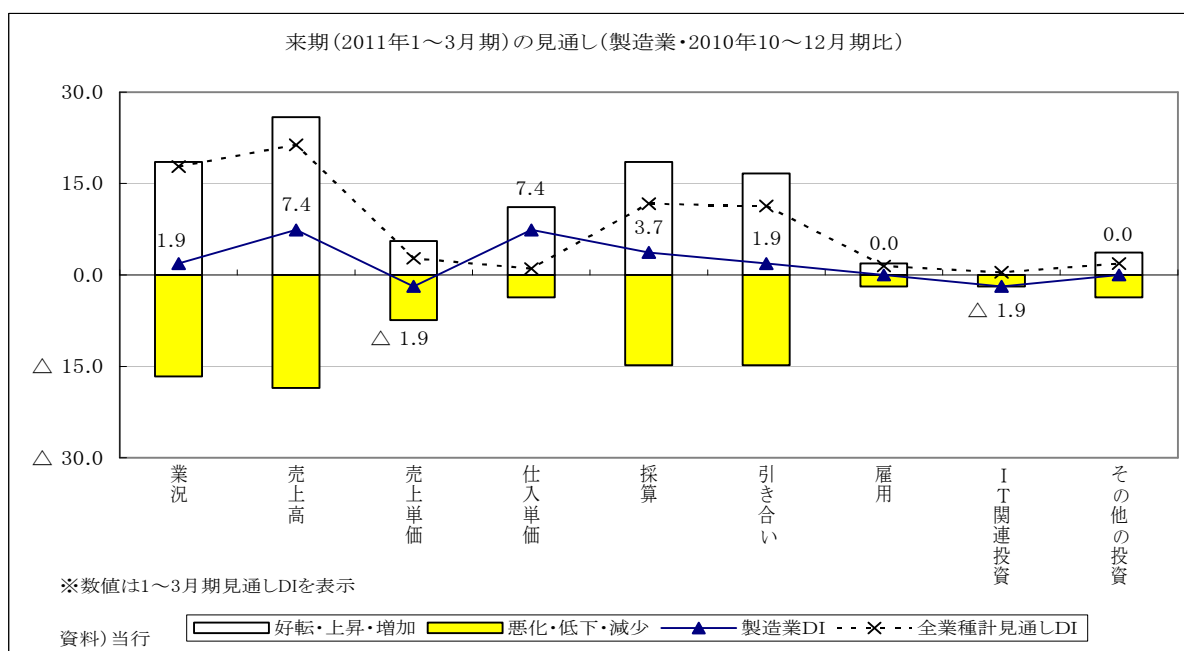
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

製造業 DI を見ると、原油価格の変動など仕入単価が上昇するものの、経費や外注費の削減など自助努力により採算性(3.7)は改善しています。販路拡大などから一部食品製造業などは業況が上向き始めていますが、公共工事の減少などから生コン製造等の建設関連や泡盛製造業などでは業況悪化の傾向がみられます。製造業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

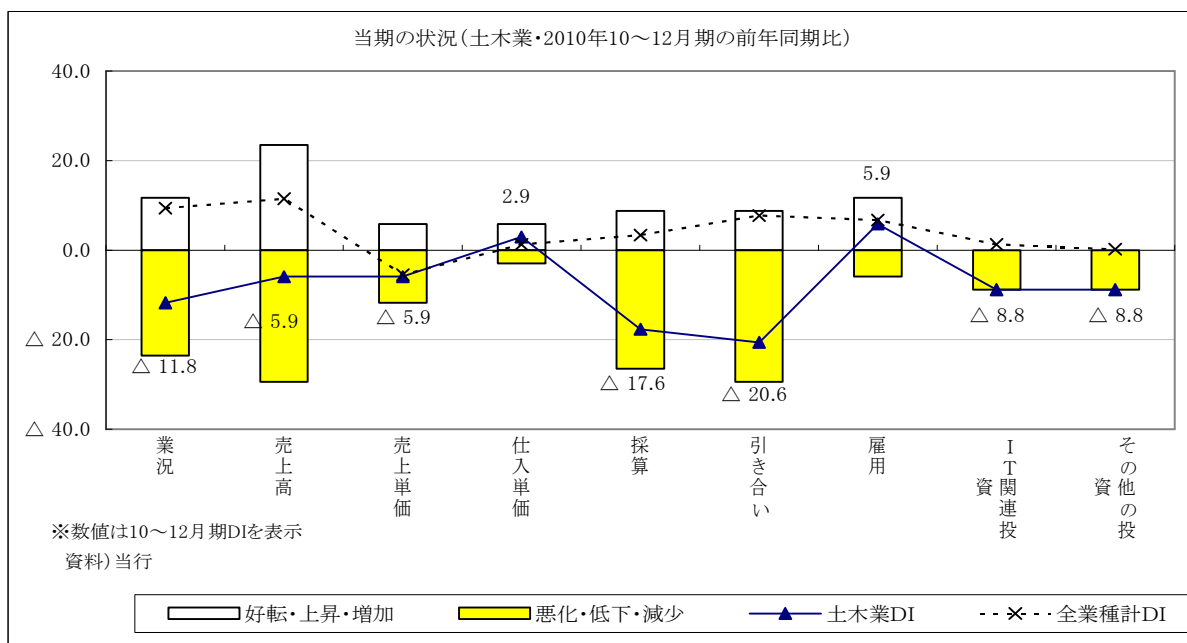
来期の見通しを見ると、年始や年度末の食品需要や冬場の観光需要、公共工事の増加などにより、売上高(7.4)は好転が見込まれています。しかしながら、食品関連も建設関連においても、景気先行きの不透明感などから、業況感については同業種間でもバラツキが見られます。製造業全体として**業況改善の動き**が見られます。



3. 土木業

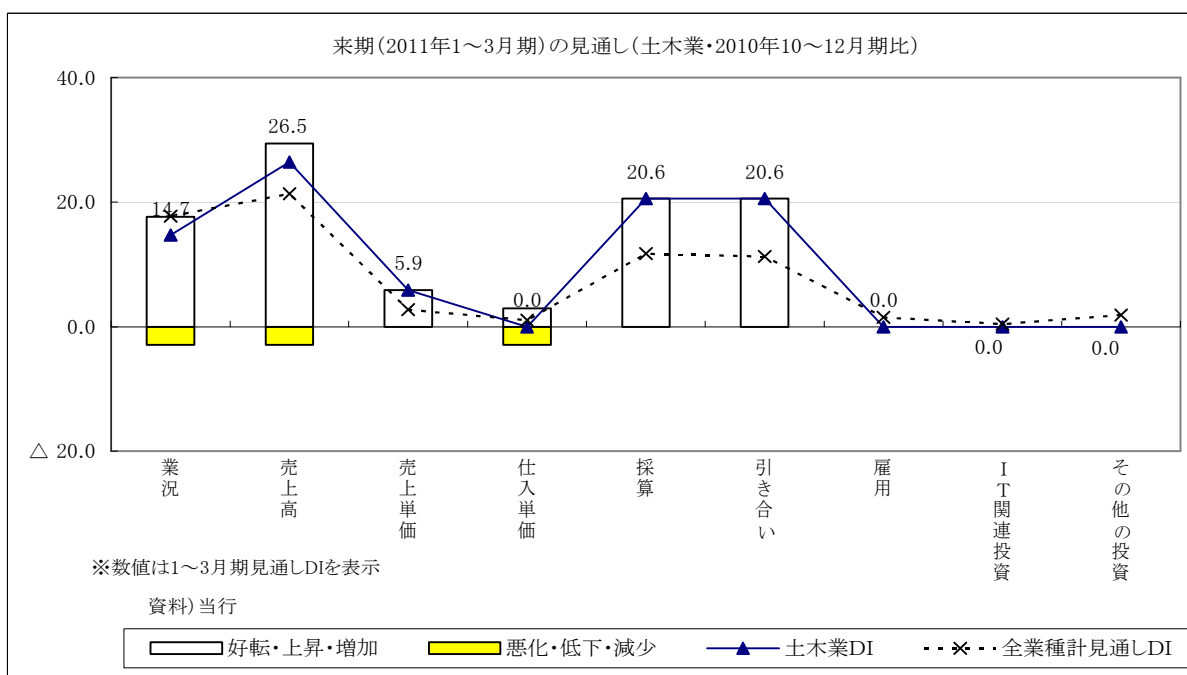
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

土木業DIを見ると、一部においては受注が安定的に確保されているものの業界全体として公共工事の減少が続く、受注環境は厳しさが続きます。価格競争は厳しく、業況(△11.8)、売上高(△5.9)、採算(△17.6)、引き合い(△20.6)と各項目とも悪化を示しています。土木業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

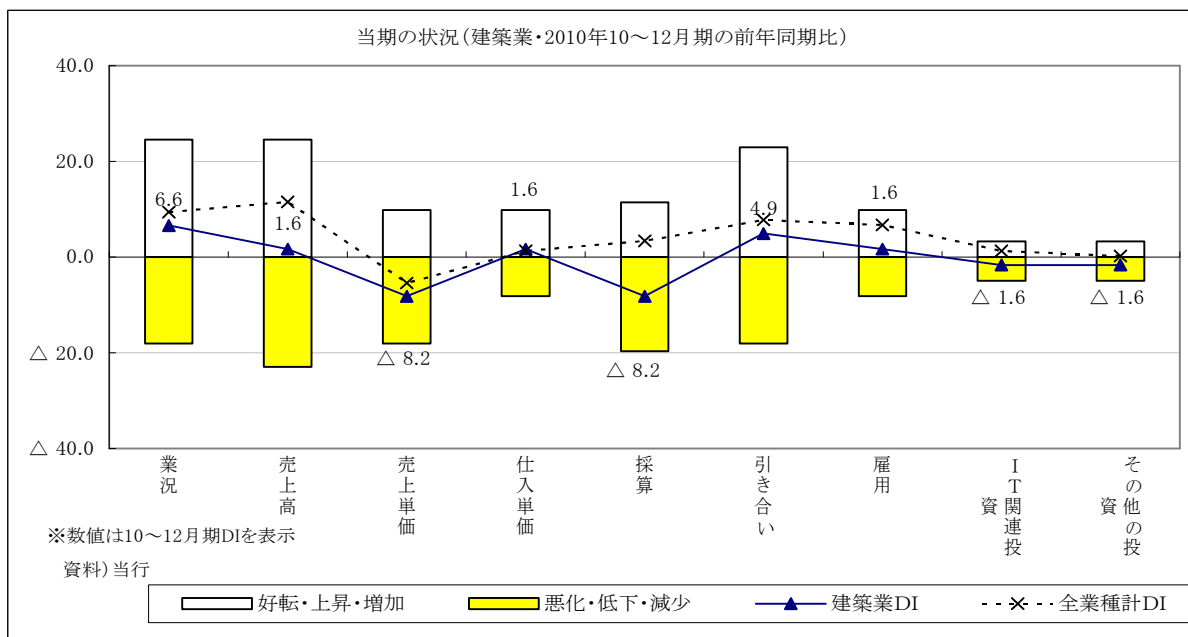
来期の見通し土木業DIを見ると、冬場の1～3月期は一年を通じて公共工事の最盛期となります。業界内にとって厳しい環境は続くという見通しは変わらないものの、売上高(26.5)や資金繰りなどは当期と比較すると改善すると見込みます。土木業全体として**業況改善の動き**が見られます。



4. 建築業

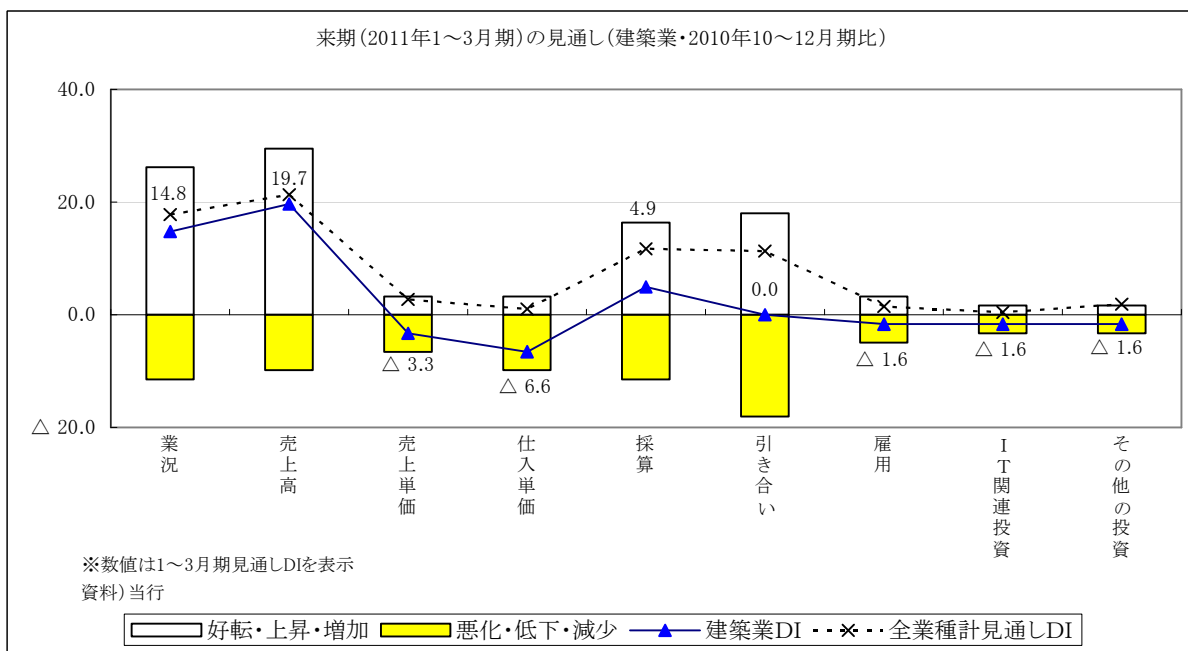
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

建築業DIを見ると、土木業同様に公共工事の減少などから採算(△8.2)が悪化を示すなど、業界環境の厳しさは続きます。しかし、一部軍関係工事の安定受注や、民間住宅・アパート等の見積りの増加などが見られ、引き合い(4.9)は増加しています。また、太陽光パネルの設置工事なども増加傾向にあります。建築業全体として**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

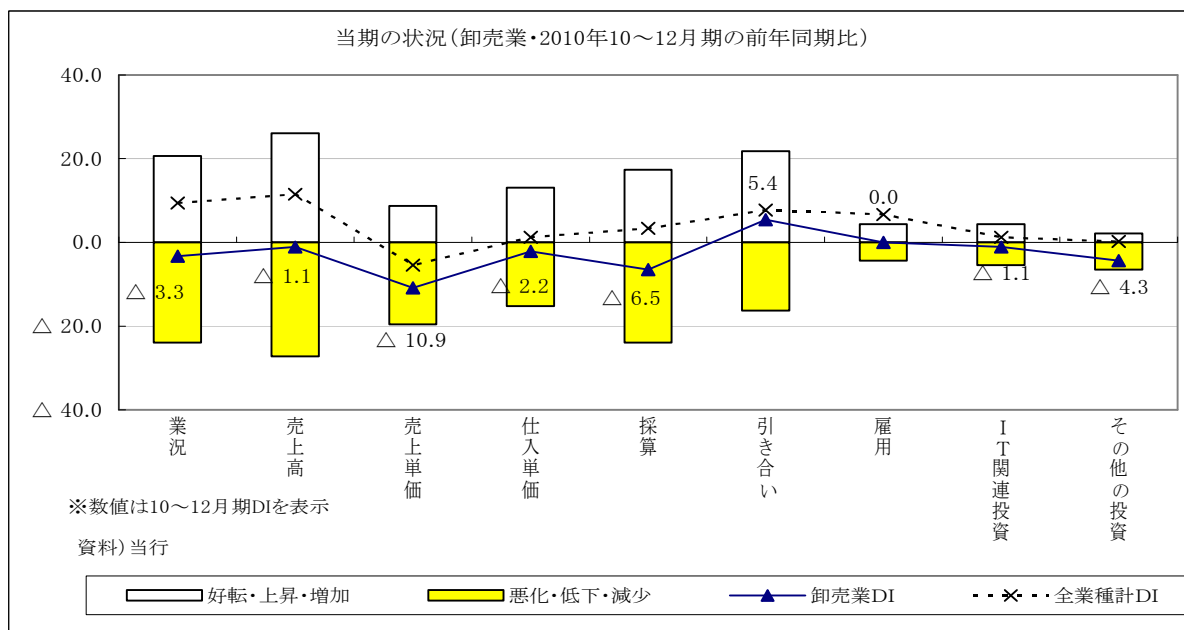
来期の見通し建築業DIを見ると、住宅の低価格化や受注の小口化などが見られます。しかしながら、土木業同様に公共工事がこの時期にピークとなることから、売上高(19.7)は増加するものと見込まれ、電気工事や内装など関連する各職種において好転する見込みです。建築業全体として**業況改善の動き**が見られます。



5. 卸売業

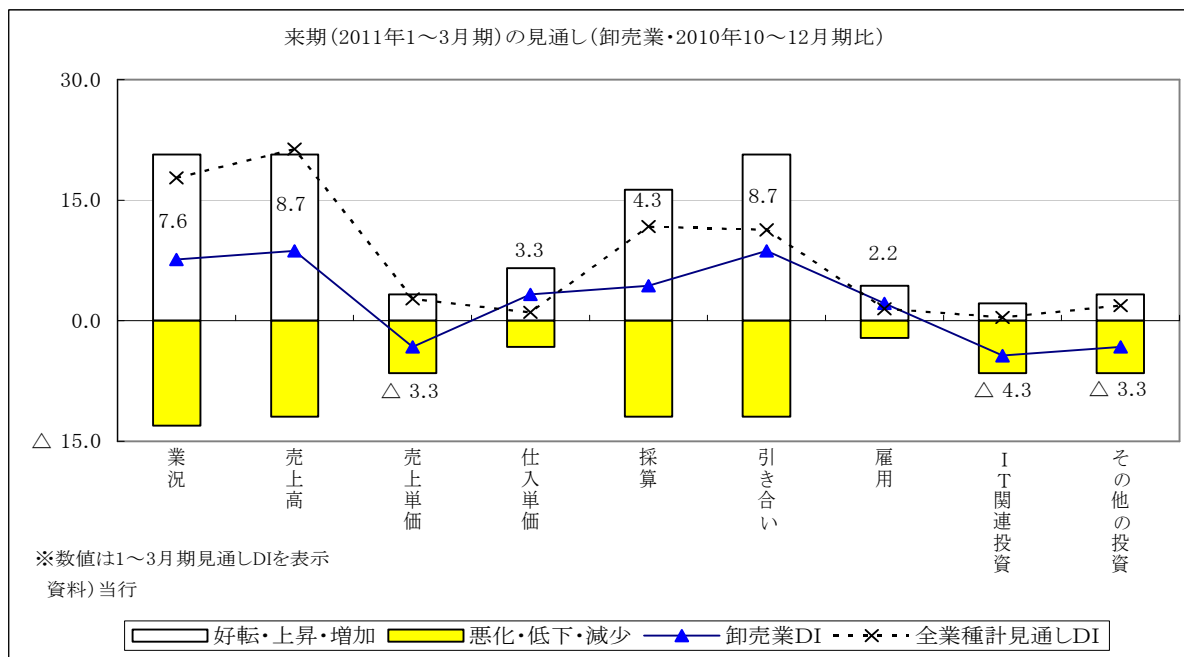
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

卸売業DIを見ると、建設関連、食品関連、日用雑貨など業種によって好転・悪化が入り混じる状況となっています。小口ながら昨年と比較すると建設関連業種などで引き合いは増加しています。青果物などにおいては猛暑や台風などの影響により根菜類などを中心に高騰しました。各業界とも卸売価格の競争激化により採算は悪化するなど、卸売業全体として**業況の弱さ**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

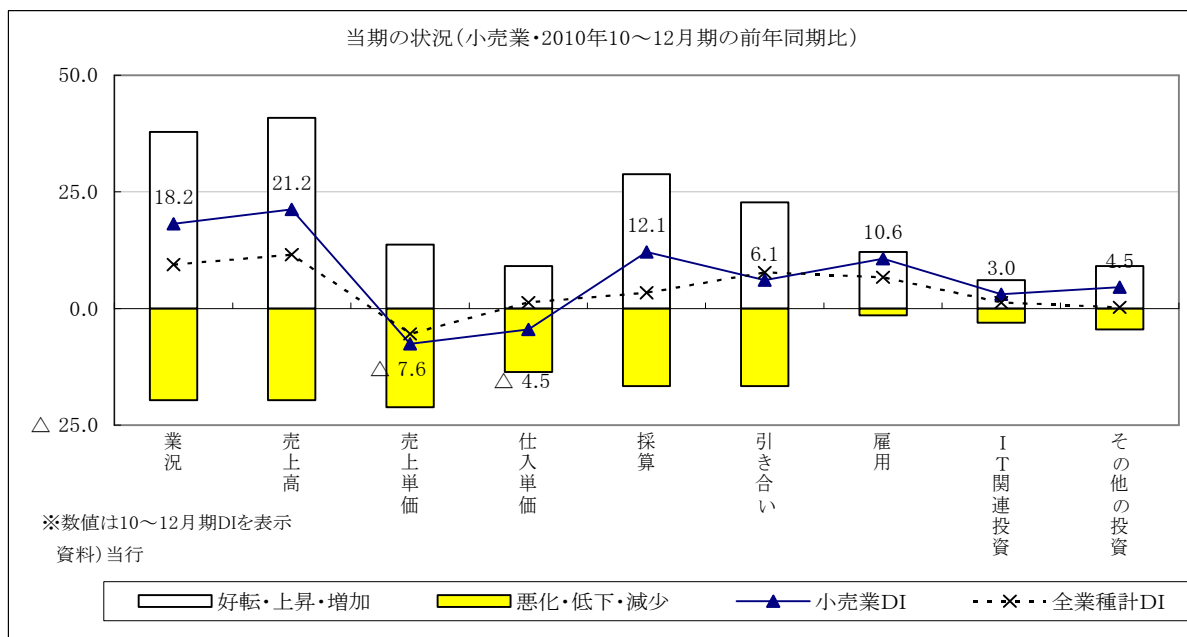
来期の見通しを見ると、建設・食品・酒類関連の一部において、低価格化による売上単価の伸び悩みから悪化を見込みます。しかし、当時期は卒業シーズンや建設業界の需要最盛期であることから、資材や燃料など建設関連を中心に幅広い業界で売上高、引き合いなどの増加が見込まれています。卸売業全体としては**業況改善の動き**が見られます。



6. 小売業

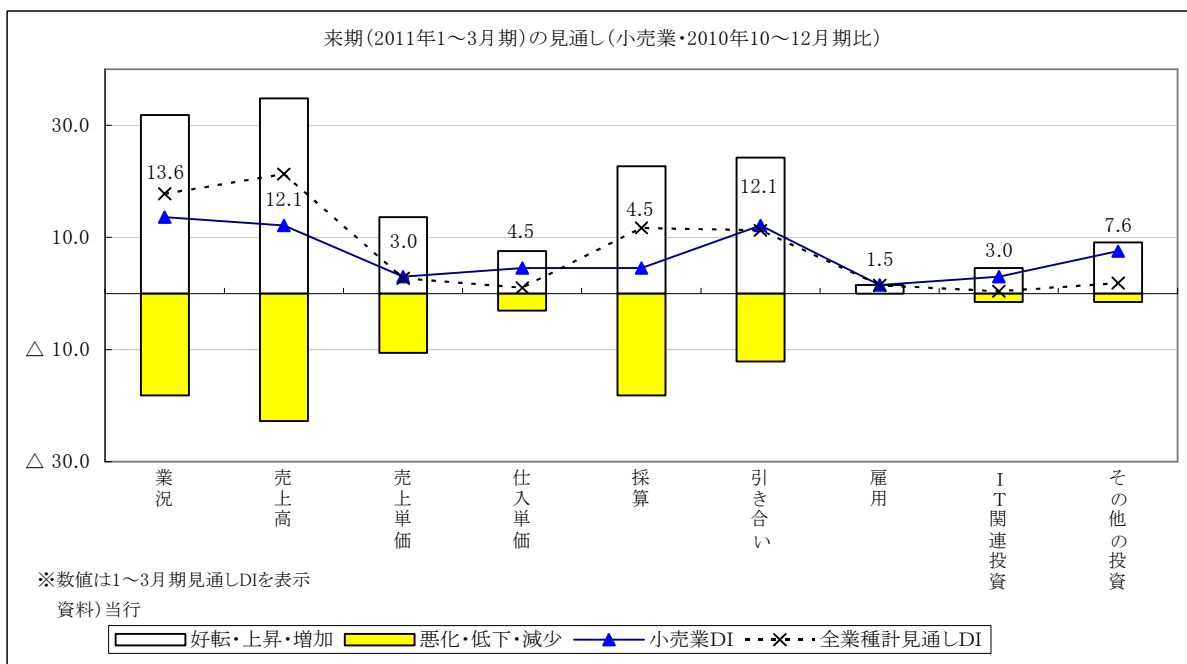
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

小売業DIを見ると、売上単価は低水準にあるものの、観光関連や建設資材等の需要の増加などから売上高は増加し採算も改善傾向にあります。家電エコポイントの効果も押し上げに寄与しました。また、新規出店等の動きや営業部門の強化により雇用も増加しています。小売業全体では**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

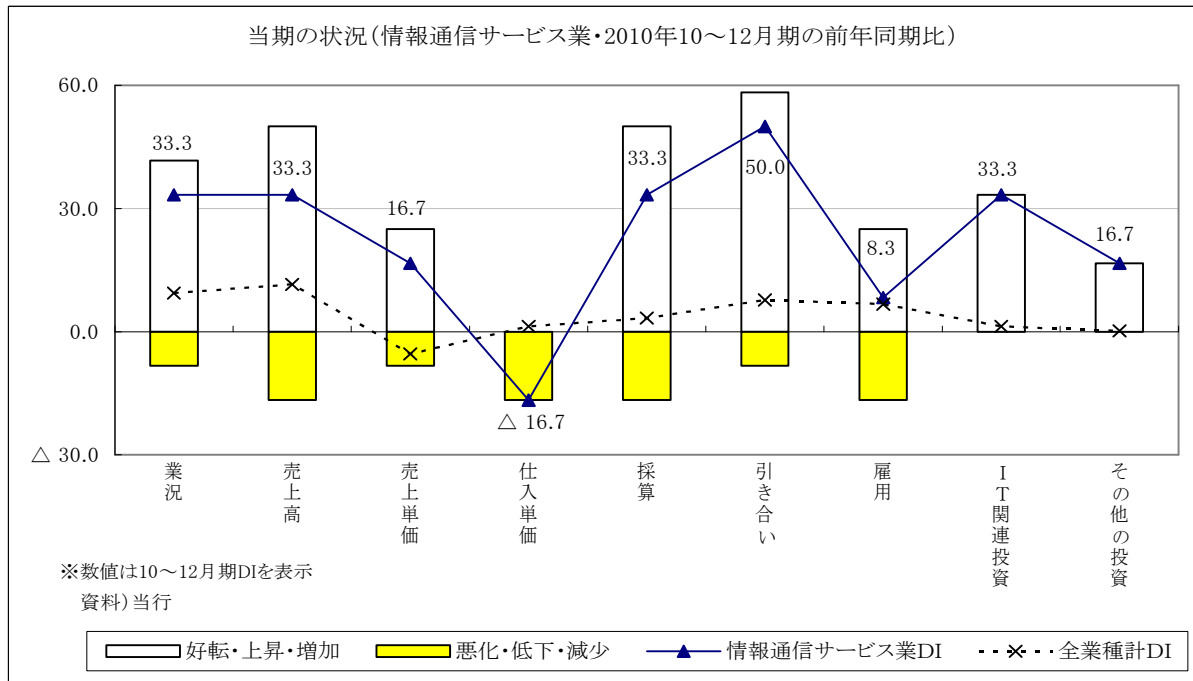
来期の見通し小売業DIを見ると、値上げ後のタバコの需要動向などが懸念されています。自動車販売では、3月期限のエコカー減税制度を踏まえ、改めて販促強化の動きが、携帯電話販売業では次世代端末機販売強化(スマートフォン)の動きが見られます。冬場の観光客数増加によるアクセサリ等お土産品の需要増加も期待されるなど、小売業全体では**業況改善の動き**が見られます。



7. 情報通信サービス業

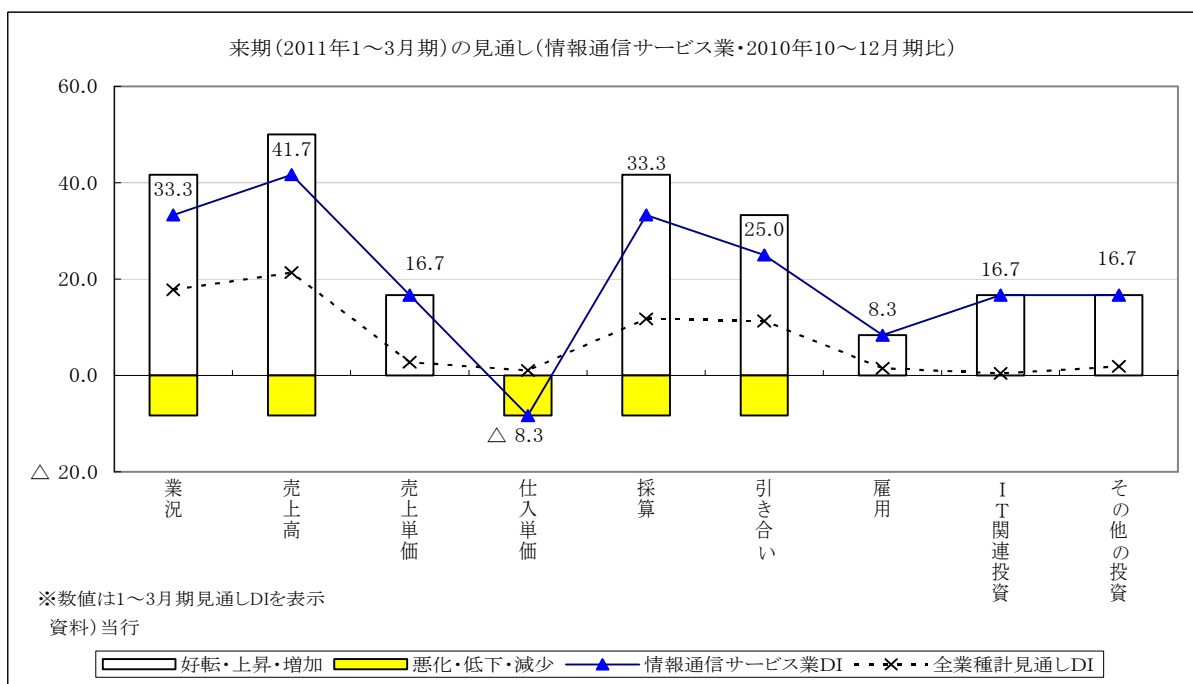
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

情報通信サービス業DIを見ると、地方公共団体や民間法人からの引き合い(50.0)は徐々に増加しています。また、新規開拓などの営業強化や顧客向けセミナーの開催など積極的な営業展開から、情報サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し (2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

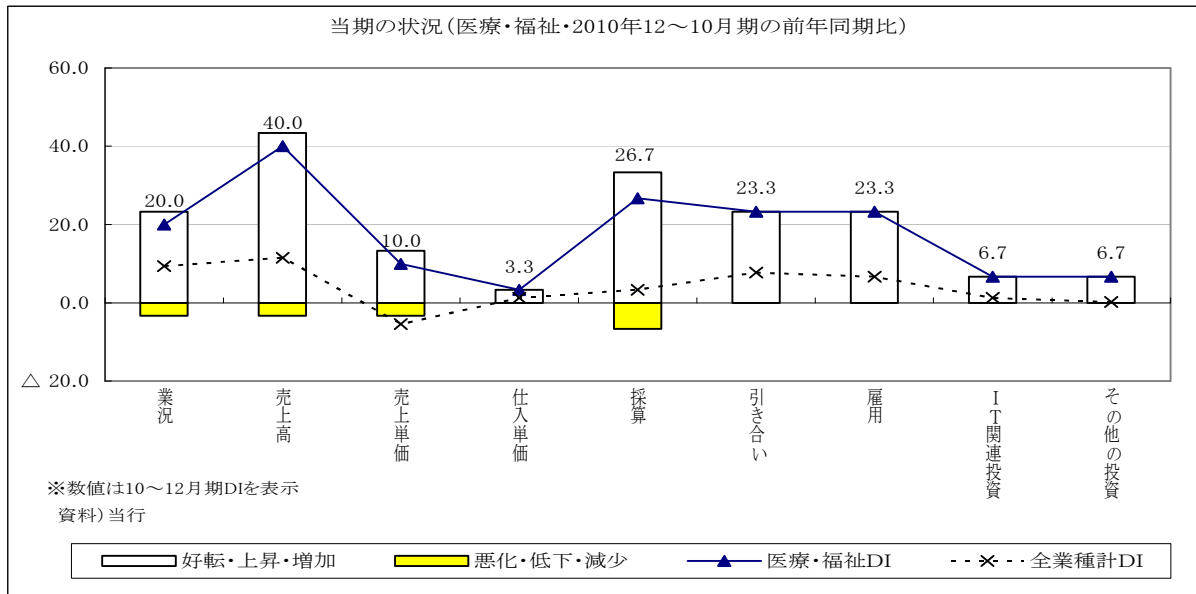
来期の見通しを見ると、一部において、民間の需要動向に不透明感を示すものの、引続き地方公共団体などからの安定受注により売上高(41.7)、引き合い(25.0)と、情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



8. 医療・福祉

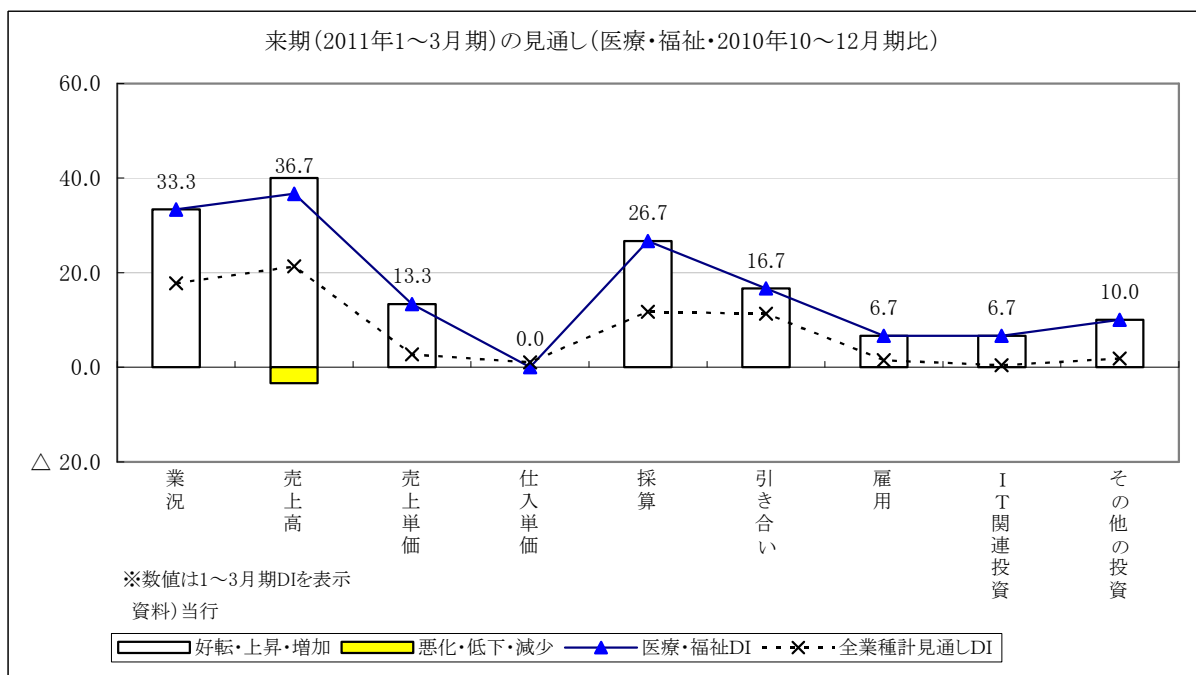
a. 当期の状況 (2010年10～12月期の前年同期比)

医療・福祉DIを見ると、外来患者数などが安定的に推移しており、売上高(40.0)、採算(26.7)、引き合い(23.3)等の業況は、引続き好調に推移しており、医師増員の動きが見られます。また、近年増加傾向にある有料介護施設や高齢者専用賃貸住宅との連携も継続的に見られます。医療・福祉全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し(2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

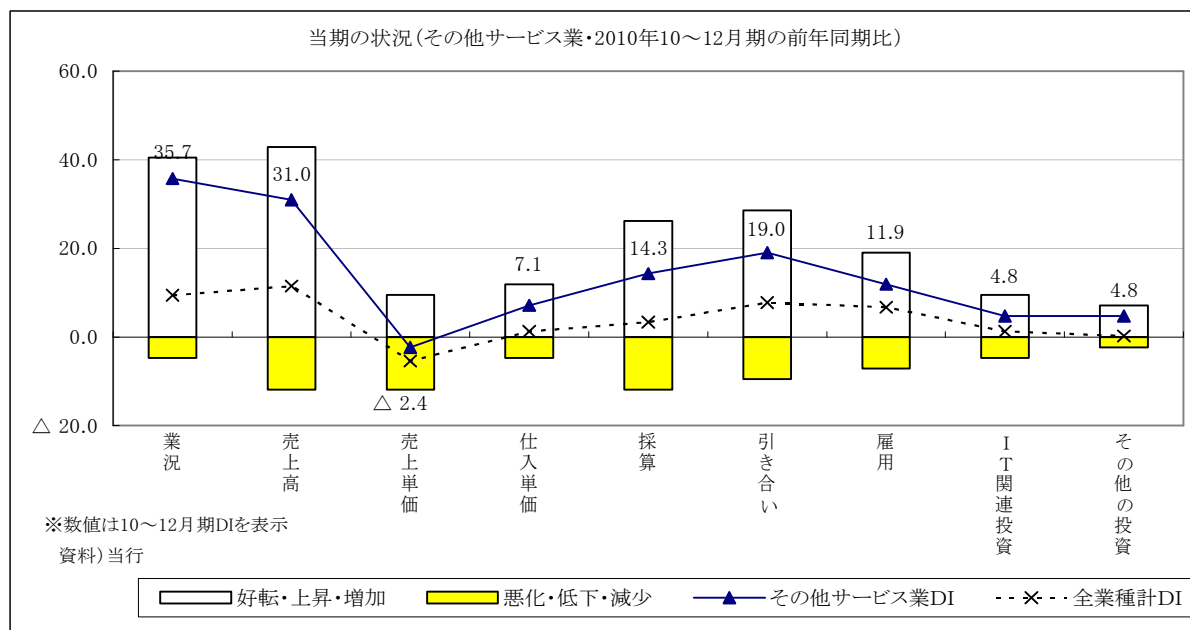
来期の見通し医療・福祉DIを見ると、インフルエンザワクチン接種など季節的に外来患者数が増加する時期であり、各項目とも増加・好転を見込みます。上記のとおり、安定需要が見込める老人介護施設等については、引続き新たな設備投資の動きが見込まれます。医療・福祉全体として**業況改善の動き**が見られます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、映画館、結婚式場、教育関連等)

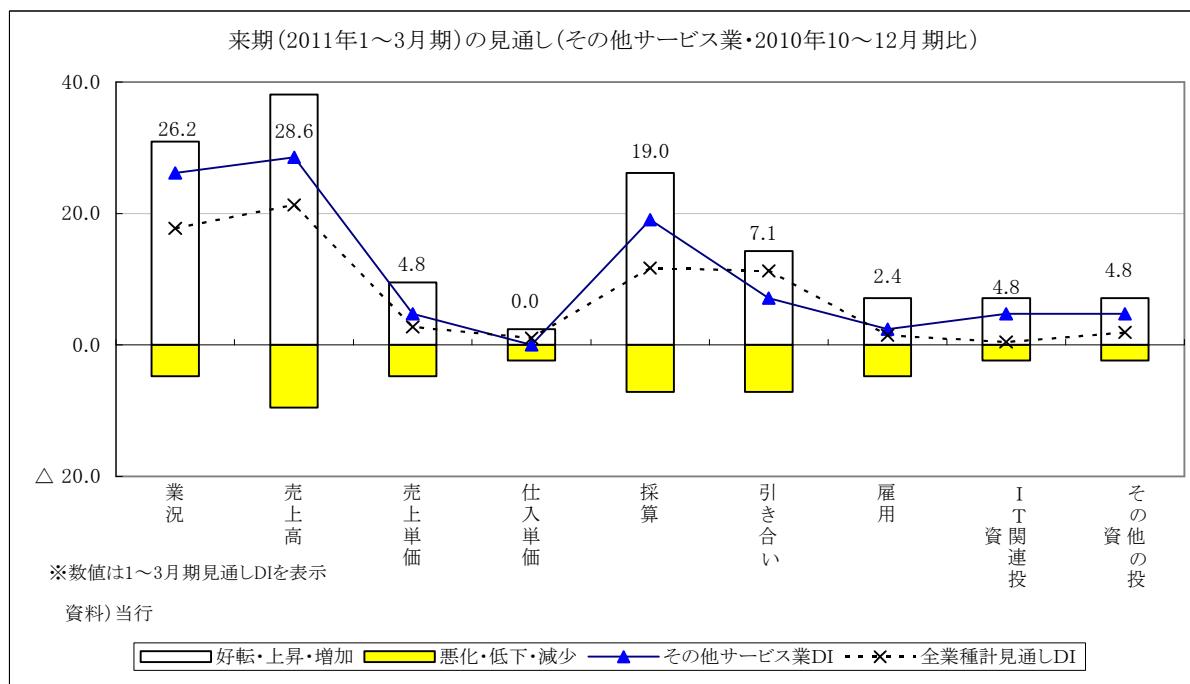
a. 当期の状況(2010年10~12月期の前年同期比)

その他サービス業DIを見ると、ブライダル関連は客足が鈍く業況に厳しさが見られます。しかし、宿泊施設や宴会場などについて、昨年流行した新型インフルエンザの反動に加え、地元向け小口プランなどの営業強化の動きから、引き合いの増加が見られます。NAHA マラソンの集客効果などもあり、その他サービス業全体としては**業況改善の動き**が見られます。



b. 来期の見通し(2011年1~3月期の2010年10~12月期比)

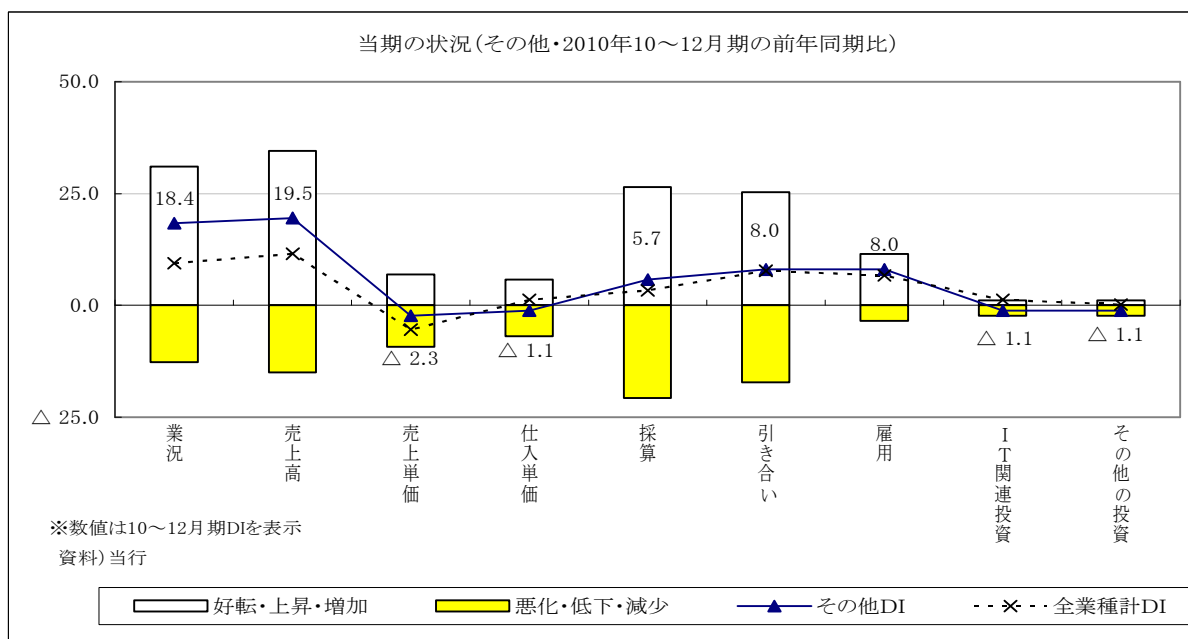
来期の見通しを見ると、冬場のプロスポーツキャンプや卒業旅行シーズンとなり、宿泊施設、リネン業、飲食施設、旅行代理店など関連産業に明るい見通しとなっています。同時に店舗の統廃合やセントラルキッチンへの導入、社員教育の強化など、社内体制のスクラップ&ビルドを強化する動きとなっています。その他サービス業全体として**業況改善の動き**が見られます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

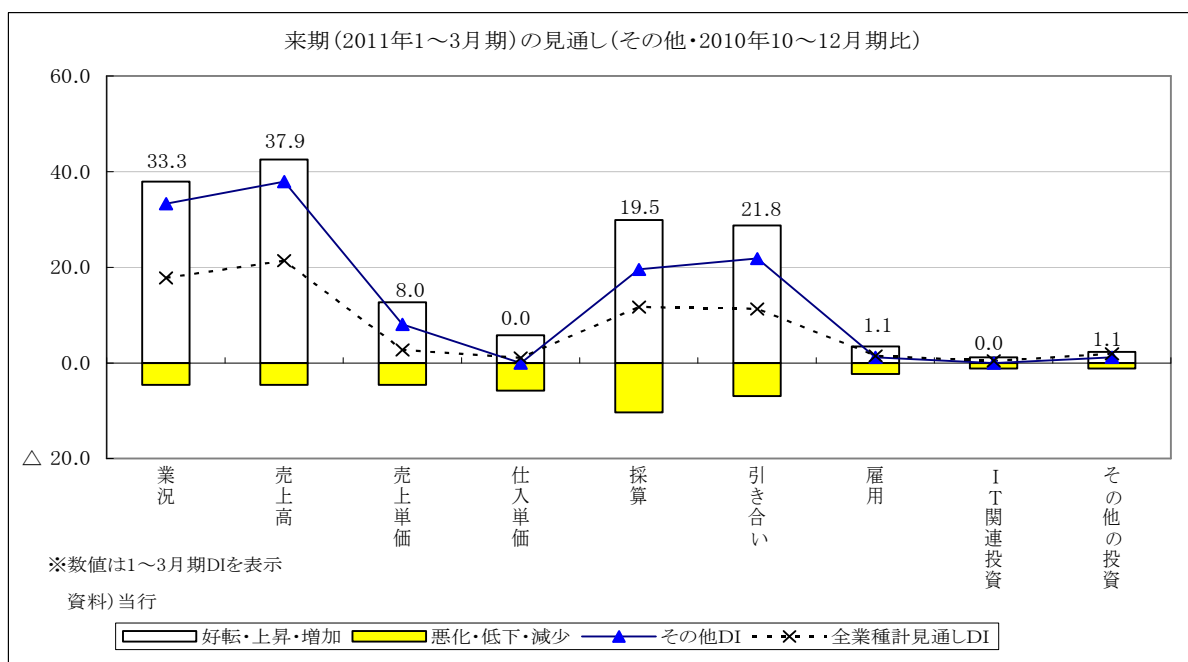
a.当期の状況(2010年10～12月期の前年同期比)

その他DIを見ると、建築業需要増を背景に、建設コンサルタントや生コン配送業などで改善の動きが見られます。建設リース業などは公共工事の減少や県外企業との競合が厳しく売上単価が低水準で推移しています。不動産業については、土地や中古物件の相談件数が増加してきました。その他全体としては業況改善の動きが見られます。



b.来期の見通し(2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

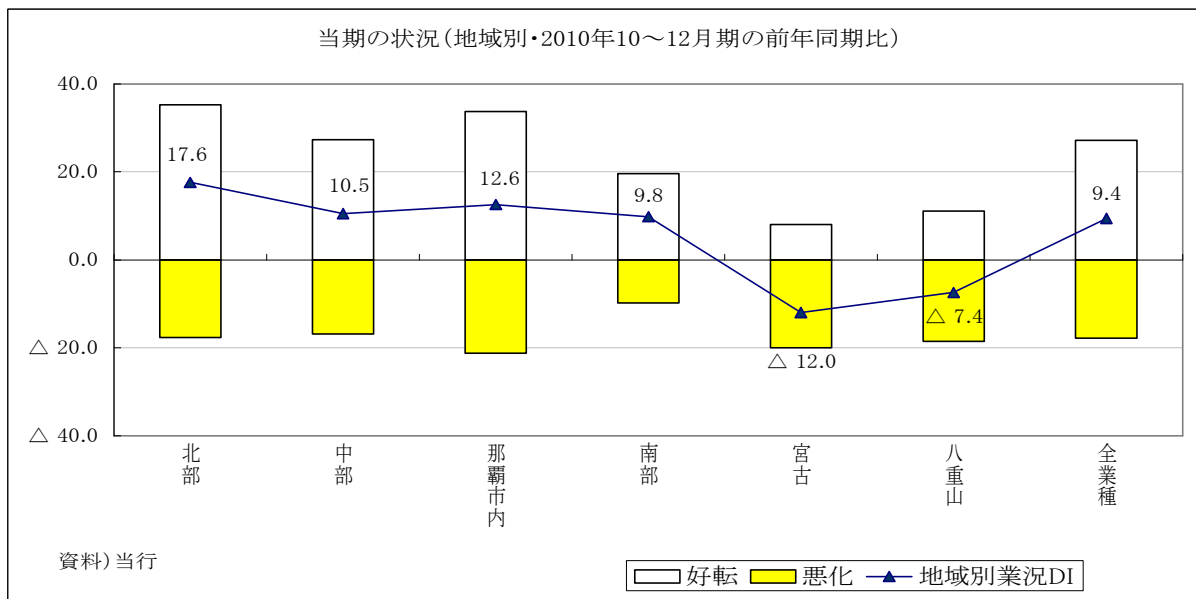
来期の見通しを見ると、公共工事の最盛期となる事や、年度末の引越シーズンとなることから、運輸業、警備業、不動産業などの産業で好転が見込まれます。また、卒業旅行などの観光需要の増加を見込み、レンタカー業などは需要増加を見込みます。タクシー業界などではハイブリッドカー導入により差別化を図る動きが見られます。その他全体として業況改善の動きが見られます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

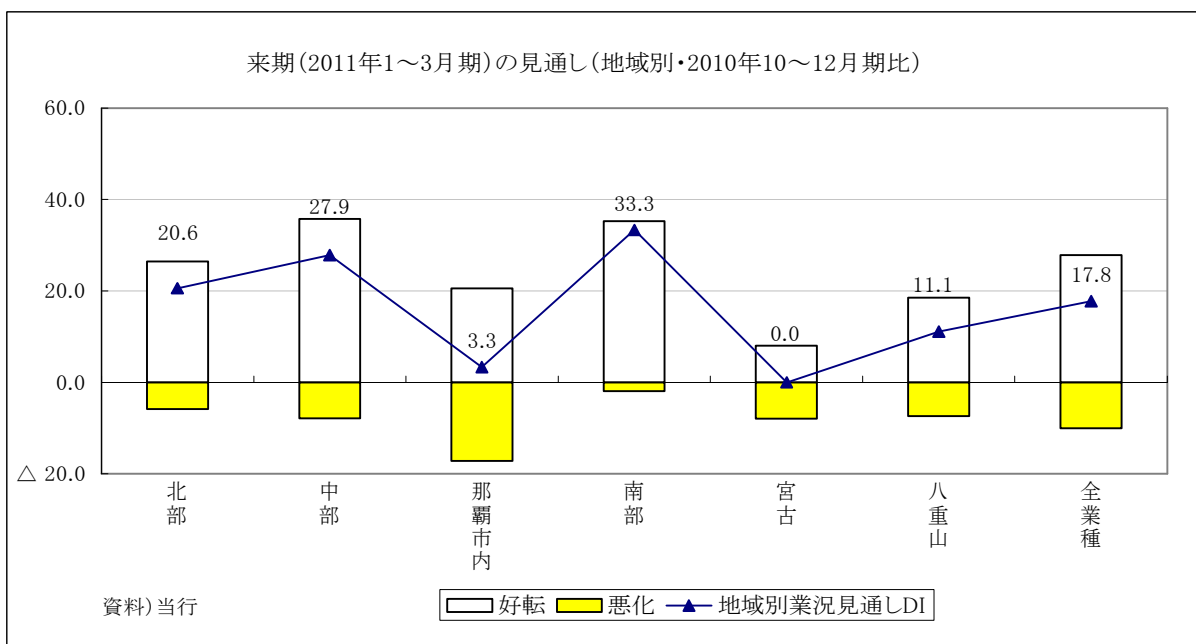
1. 当期の状況(2010年10～12月期の前年同期比)

地域別業況DIを見ると、宮古・八重山は、土木業・泡盛製造業・日用品雑貨小売業などで業況が悪化しています。南部は医療・介護や建設資材販売などが好転しています。北部は公共工事の受注が安定的に確保されているようです。中部や那覇市内は様々な業種が混在し、好転悪化が入り混じる中、観光関連、医療・介護、不動産業などにおいて業況改善の動きとなっています。



2. 来期の見通し(2011年1～3月期の2010年10～12月期比)

来期の業況見通しDIを見ると、各地域に共通して、冬場の観光需要の増加や、公共工事の最盛期などから、需要の増加が見込まれ業況改善の動きとなります。特に南部地域においては土木業の割合も高く大きな改善が期待されています。小売業の数も多い那覇市内においては、家電エコポイントの縮小など政策効果の剥落や、衣料品の売れ行き懸念もあり小幅な改善となりました。



IV.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2010年10～12月期）の業況DI調査の結果は9.4と前年同期と比較すると、多くの業種で業況改善の動きが見られました。
- ② 観光関連業種においては、7～9月期の高校総体特需ほどの勢いは見られないものの、前年流行した新型インフルエンザの反動等から、業況改善の動きがみられます。
- ③ 建築業や不動産業なども厳しさは続くものの、昨年と比較すると、徐々に相談件数などが増えてきているようです。
- ④ 政策的な影響から、小売業において家電販売は需要が高まり、自動車販売やタバコの販売が9月の駆け込み需要後の反動減となりました。
- ⑤ 一方、公共工事の減少などの影響を受ける土木業や生コン等の建設関連製造業、泡盛製造業、売上単価の下向き圧力が強い卸売業などは厳しさがみられます。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2011年1～3月期）の見通しDIについては、公共工事を中心とした、建設需要が高まる時期に当たり土木建築業、製造業、建設資材販売、運輸業など関連産業の改善が期待されます。
- ② 観光関連においても、円高による他地域との旅行需要の競合は懸念されるものの、卒業旅行シーズン、読売巨人軍や全国的に注目される新人選手が沖縄入りするプロ野球、サッカーJリーグなどのスポーツキャンプなどにより、宿泊施設、飲食店、土産品店などで需要の増加が見込まれています。
- ③ その他、季節的に外来患者数が増加する医療関連などを含め、各業種において業況改善の動きとなっています。

【2011年1～3月の主なイベント】

日程	名称
1月下旬～2月	Jリーグプロサッカーチームキャンプイン(4球団) プロ野球チームキャンプイン(10球団)※読売巨人軍=2/20～2/27
1月下旬～2月上旬	沖縄3大桜祭り(本部・今帰仁・名護)、 久米島、八重瀬
3/18～3/27	第3回沖縄国際映画祭
3/18～3/20	第2回沖縄国際アジア音楽祭

(おきぎん経済研究所 研究員 上地良平)

